

出願書式

(参照用)

名古屋学芸大学大学院

看護学研究科

【参照用】

C

〇〇年度名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

受験番号※	
試験区分	名古屋学芸大学看護学部特別選抜

推 薦 書

氏 名

生年月日 年 月 日

上記の者は、本学部の卒業（見込）生であり、入学適格と認め推薦いたします。

令和 年 月 日

推 薦 者

名古屋学芸大学看護学部長

⑩

名古屋学芸大学長 殿

※印は、本学記載欄

【参照用】

D

〇〇年度名古屋学芸大学大学院看護学研究科
入学試験受験票（〇〇日程）

【研究コース】

ふりがな		受験番号
氏名		*
試験区分	一般選抜試験	
試験日	令和〇年〇月〇日（〇曜日）	
試験日程	専攻専門科目 9:30 ~ 10:30 小論文 11:00 ~ 12:30 面接 13:30 ~	
試験会場	名古屋学芸大学名城前医療キャンパス	

* 欄は記入しないこと

【参照用】

D

〇〇年度名古屋学芸大学大学院看護学研究科
入学試験受験票（〇〇日程）

【保健師養成コース】

ふりがな		受験番号
氏名		*
試験区分	一般選抜試験	
試験日	令和〇年〇月〇日（〇曜日）	
試験日程	専攻専門科目 9:30 ~ 10:30 小論文 11:00 ~ 12:30 面接 13:30 ~	
試験会場	名古屋学芸大学名城前医療キャンパス	

* 欄は記入しないこと

〇〇年度名古屋学芸大学大学院看護学研究科
入学試験写真票（〇〇日程）【一般選抜試験】

【研究コース】

試験日	令和〇年〇月〇日（〇曜日）		写真貼付欄 1. 正面上半身脱帽 3ヶ月以内に 撮影したもの 2. 大きさ 縦4cm×横3cm 撮影 年 月 日
受験番号	*		
ふりがな			
氏名			
生年月日	西暦	年 月 日	
試験会場	名古屋学芸大学名城前医療キャンパス		

* 欄は記入しないこと

〇〇年度名古屋学芸大学大学院看護学研究科
入学試験写真票（〇〇日程）【一般選抜試験】

【保健師養成コース】

試験日	令和〇年〇月〇日（〇曜日）		写真貼付欄 3. 正面上半身脱帽 3ヶ月以内に 撮影したもの 4. 大きさ 縦4cm×横3cm 撮影 年 月 日
受験番号	*		
ふりがな			
氏名			
生年月日	西暦	年 月 日	
試験会場	名古屋学芸大学名城前医療キャンパス		

* 欄は記入しないこと

受験番号※	
-------	--

(長期履修内規 様式第1号)

長期履修許可願

年 月 日

名古屋学芸大学大学院看護学研究科長 殿

ふりがな

氏 名



下記のとおり長期履修学生として、修学を許可して下さるようお願いいたします。

記

入 学 年 月	年 4 月
長期履修希望年数	3 年 ・ 4 年 (希望年する年数に○を付けてください。)
現 住 所	〒 _____ 電話 _____
勤 務 先 (職 種)	
勤 務 先 所 在 地	〒 _____ 電話 _____

(注) 入学志願者本人が、黒のボールペンで丁寧に記入してください。

(添付書類)

次に掲げる書類を添付してください。

1. 長期履修計画書
2. 該当する申請条件に応じて次の書類を添付してください。

該当するものに○を付けてください。	申 請 条 件	添 付 書 類
	職業を有するため、標準修業年限で修了することが困難な者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）	在職証明書またはそれに代わるもの（別紙様式）
	育児、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者	本人の申立書
	病気等その他、やむを得ない事情により、標準修業年限で修了することが困難な者	病気等の場合は診断書、その他の場合は本人の申立書（別紙様式）

受験番号※

(長期履修内規 様式第2号)

長期履修計画書

年 月 日

ふりがな

氏 名

㊞

希望する長期履修在学期間	年 4 月 から	年 3 月 まで
希望する理由		
在学期間中の履修計画（具体的に記入してください。）		
長期履修計画についての指導教員との相談内容		

(注) 入学志願者本人が、黒のボールペンで丁寧に記入してください。
なお、「長期履修許可願」に添付して提出してください。

研究指導責任者

所属・職 : _____

氏 名 : _____ ㊞

【参照用】

H

受験番号※

(長期履修内規 別紙様式)

申 立 書

年 月 日

ふりがな

氏 名



育児、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難である理由を具体的に記載してください。

(注) 長期履修許可願いに申立書の添付が必要な場合は、この様式を使用してください。なお、入学志願者本人が黒色のボールペンで丁寧に記入してください。

日程区分	前期日程 ・ 後期日程
------	-------------

試験区分	コース区分
<input type="checkbox"/> 一般選抜	<input type="checkbox"/> 研究コース <input type="checkbox"/> 保健師養成コース
<input type="checkbox"/> 社会人特別選抜(研究コースのみ)	<input type="checkbox"/> 研究コース
<input type="checkbox"/> 名古屋学芸大学看護学部特別選抜	<input type="checkbox"/> 保健師養成コース

注1. 前期日程又は後期日程のどちらかを○で囲んでください。

注2. 志望する試験区分及びコース区分に☑印を記入してください。

注3. ※印の欄へは、記入しないでください。

受験番号※		氏名	
-------	--	----	--

入学検定料振込証明書貼付用紙兼出願書類等チェック表

入学検定料振込証明書（提出用）を、以下に貼り付けてください。

提出書類を確認し、以下のチェック欄の□に☑印を記入してください。

提出書類	チェック欄	備 考
1. 入学願書	<input type="checkbox"/>	
2. 志願理由	<input type="checkbox"/>	
3. 推薦書	<input type="checkbox"/>	名古屋学芸大学看護学部特別選抜志願者のみ
4. 受験票・写真票	<input type="checkbox"/>	
5. 成績証明書	<input type="checkbox"/>	出願資格事前審査時に提出した者は、提出不要
6. 卒業（見込）証明書	<input type="checkbox"/>	出願資格事前審査時に提出した者は、提出不要
7. 出願資格認定通知書（写）	<input type="checkbox"/>	出願資格⑩に該当する者のみ
8. 学位授与証明書	<input type="checkbox"/>	出願資格②に該当する志願者のみ
9. 看護実践報告書	<input type="checkbox"/>	社会人特別選抜志願者のみ
10. 長期履修許可願	<input type="checkbox"/>	長期履修を希望する志願者のみ
11. 在職証明書	<input type="checkbox"/>	長期履修の申請条件で、添付が指定されている志願者のみ
12. 診断書	<input type="checkbox"/>	
13. 申立書	<input type="checkbox"/>	
14. 長期履修計画書	<input type="checkbox"/>	長期履修を希望する志願者のみ
15. 就学承認書	<input type="checkbox"/>	在職したまま在学を希望する者のみ
16. 看護師免許証等（写）	<input type="checkbox"/>	
17. 入学検定料振込証明書	<input type="checkbox"/>	
18. 受験票送付用宛名シール	<input type="checkbox"/>	
19. 入学検定料振込証明書貼付用紙兼出願書類等チェック表	<input type="checkbox"/>	

※社会人特別選抜入試及び長期履修制度並びに職場に在籍したままの在学については、保健師養成コースには適用しない。

〇〇年度名古屋学芸大学大学院看護学研究科修士課程入学試験

審査番号※	
受験番号※	

年 月 日

入学試験出願資格認定申請書

名古屋学芸大学長 殿

住 所 _____

ふりがな

氏 名 _____

貴学大学院看護学研究科修士課程入学試験の出願資格の認定を受けたいので、以下により申請します。

資 格 審 査 基 準	申請項目
(ア) 看護師、保健師、助産師の資格を有している者	
(イ) 看護師、保健師、助産師の資格取得後実務経験が5年以上の者	
(ウ) 研修学校（厚生労働省、看護協会、県など公共またはそれに相当する機関の研修学校）又は継続教育（管理者コース）などを修了している者	
(エ) 業績（査読のある学術雑誌への掲載、学会の発表の経験）を有する者	

※申請項目欄に○印を付すこと。

【参照用】

M

名古屋学芸大学大学院看護学研究科

審査番号※	
受験番号※	
氏名	

研究業績を証する書類

著書、学術論文等の名称	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	単著・共著の別／著者又は発表者名

就学承認書

名古屋学芸大学長 殿

氏 名

生年月日(西暦) 年 月 日生

上記の者が、貴学大学院看護学研究科に入学した場合は、大学院設置基準第14条特例(※)の適用により、在職したまま在学することを認めます。

※〈大学院設置基準第14条特例〉

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

年 月 日

所 在 地

所属機関等

所属機関の長